

海洋プラスチックごみの発生要因調査フォローアップ調査業務 評価項目別総合値

評価項目		復建調査設計 株式会社 広島支社	八千代エンジ ニヤリング 株式会社 広島支店
1 業務実施方法(仕様書への適応)			
(1) 河川等に散乱・漏洩しているプラスチックごみの年間量把握調査			
① 調査計画は、令和3年度に実施した発生要因調査結果を考慮した内容となっているか。【必須】		40	28
② 1年間で発生した散乱・漏洩ごみの量及び組成、季節ごとのごみの散乱・漏洩状況の違いを把握する内容になっているか。【必須】		28	28
③ 調査計画は、調査結果を解析するのに十分な回数を行うこととなっているか。【必須】		28	28
④ 調査の手法は多様な調査手法の組合せや創意工夫がなされ、かつ、有効であると認められるか。		34	28
(2) 河川等に散乱しているポイ捨てされたごみの量の把握調査			
① 河川等に散乱しているごみがポイ捨てによるものか発生要因が特定でき、季節ごとのポイ捨て発生量の違いが把握できる内容となっているか。【必須】		32	28
② 河川等に散乱しているごみに占める、ポイ捨てごみの割合が算出できる内容となっているか。【必須】		34	26
③ 調査の手法は多様な調査手法の組合せや創意工夫がなされ、かつ、有効であると認められるか。		34	32
(3) ポイ捨てごみ発生要因の分析及び対策の提案			
① 河川等のポイ捨てごみの発生源を論理的に検証する手法がとられているか。【必須】		36	28
② 実態調査から得られた、ポイ捨てごみの発生状況及び発生要因等が統計的に整理される内容になっているか。		36	26
③ 解析結果から導かれた課題への対策が検討される内容になっているか。【必須】		32	26
2 業務の実施体制・遂行性			
① 過去に同種又は類似業務を受託し、適切に履行するなど豊富な実績があり、必要な知識・知見を有し、本業務を十分に実施できると認められるか。		19	18
② 業務スケジュールは具体的で、業務遂行可能な人員の確保、業務に精通した担当者の配置、県と随時連絡できる体制が確保され、確実な遂行が可能と認められるか。		18	18
3 経費	経費の配点 × (提案者中の最低見積金額) / (当提案者の見積金額)	60	60
合計		431	374